

平成24年度 大学コンソーシアムやまがた第2回総会 議事録

日 時 平成24年6月28日(木) 15:00~15:50

場 所 ゆうキャンパス・ステーション

出席者	羽陽学園短期大学	:	研 攻一	学長
	東北文教大学	:	大川 健嗣	幹事会副委員長・教授
	山形県立産業技術短期大学校	:	横山 正明	校長
	山形県立農業大学校	:	百瀬 清昭	校長
	山形県立保健医療大学	:	金内 良一	幹事会副委員長・理事
	山形県立米沢女子短期大学	:	遠藤 恵子	副会長・学長
	山形県	:	望月 明雄	監事:総務部長
	山形大学	:	結城 章夫	会長・学長
			安田 弘法	幹事会委員長・副学長
			栗山 恭直	企画会議委員長・教授
欠席者	東北芸術工科大学	:	根岸吉太郎	副会長・学長
	東北芸術工科大学	:	五十嵐真二	幹事会副委員長・事務局長
	東北公益文科大学	:	町田 睿	副会長・学長
	東北文教大学	:	内田 英子	監事・学長
	鶴岡高等工業専門学校	:	加藤 靖	校長
	放送大学山形学習センター	:	飯澤 英昭	所長
	山形県立保健医療大学	:	青柳 優	副会長・学長
	山形県立米沢女子短期大学	:	草苺 信博	幹事会副委員長・事務局長
	山形工科短期大学校	:	勝見英一郎	校長
	山形大学	:	山崎 彰	事業評価委員会委員長・教授
連携事業説明者	山形大学	:	横井 博	教授
陪席者	東北芸術工科大学	:	工藤 彰	教学事務室・教務担当課長
		:	樋口 雅子	広報室・主事
	東北文教大学	:	井上 祐子	総務課長
	山形県	:	石井 貴子	学事文書課・主査
	山形大学	:	矢口 清	渉外部・渉外課長

1 開会

議事に先立ち、事務局から、本日の欠席者及び前回会議(平成23年3月21日)以降に委員となった方の紹介があった。

2 議事

[報告事項]

1 平成 23 年度事業報告について

事務局から資料 1 に基づいて報告があった。

2 平成 24 年度事業計画について

事務局から資料 2 に基づいて報告があった。

3 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」について

横井 博 教授から資料 3 に基づき報告があった。また、事務局より資料 大学コンソーシアムやまがた総会（平成 24 年度第 1 回（書面））について（報告）に関する報告があった。

関連して概ね次のような質疑応答が行われた。

- 1 先般の書面総会開催通知（6 月 20 日付け）及び結果報告（6 月 26 日付け）の文書についての確認であるが、いずれも文中「「大学間連携共同教育推進事業」で求められている関係大学コンソーシアムに大学コンソーシアムやまがたが参画することについて」と表現されているが、「求められているステークホルダーに大学コンソーシアムやまがたが参画することについて」が正確な表現と思うが、そういう理解でよろしいか。

文部科学省の要項を見る限りでは、「大学コンソーシアム」の参加は必須要件とはなっていないように解釈したが、見落とし等間違いではないか。

- 「大学コンソーシアム」は必須要件とはなっておりません。

なお、様式 1 では、連携機関とは別の欄に記載するようになっておりますので、「「大学間連携共同教育推進事業」で求められている関係大学コンソーシアムに大学コンソーシアムやまがたが参画することについて」という表現をしています。

- 2 書面総会に対して本学（山形県立保健医療大学）より学長名で提出させていただきました意見に関して、1 点を除き、個別的な御回答をいただいているが、これは、「当然のこととして了解した」と解釈してよろしいのでしょうか。

- 山形県立保健医療大学回答に記載された留意事項（1）～（3）については、基本的にはそのような考え方で対応することになります。なお、（3）の「この場合～」以下の事項については採択後の事業計画等の見直しで検討すべきことと考えております。

- 3 大学コンソーシアムやまがたの中に新規組織としての委員会を設置する件についても本学（山形県立保健医療大学）としての意見を提出させていただきましたが、「これについては、今次の議題ではない。採択後に正規の別途手続きの中で審議されるものである」旨の回答があったと解釈したが、それでよろしいか。その場合、既に、事業申請が採択され、申請書の中に、このスキームが含まれているので、修正・検討の余地は無いということにならないのか。

- コンソーシアムの新規組織については、総会審議結果として報告しましたように、「大学コ

ンソーシアムやまがたの会則にしたがって審議し決定されるので、そのように取り扱うことにいたします」、ということです。その審議の際にご意見が提示されることは、通常の審議のように当然のことと考えております。

関連して、議長より、本コンソーシアムが連携機関の一体であると同時に実施主体となるということは、変な感じがする旨の発言があり、その後、金内副委員長より、「そうした視点から、コンソーシアム内に委員会設置ではなくて、別途設置を申し上げたのです。」旨の意見があり、今後、正式議題として十分に検討していくことで了承された。

4 ステークホルダーの事業参加の態様はどのようなものか。

- 共同教育に参画するものではなく、評価を中心に参画していただくことを想定している。

[協議事項]

第1号議案 平成23年度収支決算報告及び監査報告について

議長から本件について提案があり、事務局から資料4-1に基づき説明があった後、諮られた結果、了承された。また、望月監事から資料4-2に基づいて報告があった。

第2号議案 平成24年度収支予算(案)について

議長から本件について提案があり、事務局から資料5に基づき説明があった後、諮られた結果、了承された。

[その他]

- ・ 議長から「ゆうキャンパス・ステーション」は、オープン以来、各種イベントを実施してきたが、まだまだ【学生のたまり場】になっていないのが現状であり、委員の皆さまからも意見等があれば、いただいたご意見は幹事会又は企画会議で審議・実行していきたい旨の話題提供があった。

また、事務局より平成25年度の会費について次回幹事会・総会で議題として審議していく旨、第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画で示されている事業評価については今年度実施する方向で調整中である旨、了承された。

また、事務局より現在実施しているやまがた夜話、合同企業説明会、ゆうキャンパス通信についての活動報告があった。

主な発言は次の通り。

- ・ ゆうステは講演会等様々な事業で成果を上げてきているのではないかと。今年度のゆうステの使用状況を聞かせていただきたい。
- ・ 山形県では、農林水産業・観光・商工・行政等の各分野が連携し、県内への観光誘客を図る

ために、「やまがた元気プロジェクト」を実施している。その一環として、6月23日（土）24日（日）に「日本一『さくらんぼ』祭り」を開催した。今年4回程度の「祭り」を実施する。将来的には、行政主体ではない若者中心の、北海道のYOSAKOIソーラン祭のように山形を盛り上げるイベントにしたいので県内の高等教育機関ともいろいろな形で連携していきたいと考えている。コンソ加盟機関にはできるだけ御協力いただきたい。

- ・ 7月17日（火）に第2回目の合同企業説明会を予定しているが、5月に開催した際には、参加学生数が少なかった。是非、多数の学生に参加いただけるようお願いしたい。 など

なお、今回は日程を調整の上、開催することとなった。

[配付資料]

資料No. なし

- 大学コンソーシアムやまがた役員名簿（裏面出席者名簿）
- 大学コンソーシアムやまがた会則
- 大学コンソーシアムやまがた総会（平成24年度第1回（書面））について（報告）

- 資料1 平成23年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書
- 資料2 平成24年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書
- 資料3 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」
- 資料4-1 平成23年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書
- 資料4-2 監査報告
- 資料5 平成24年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案）

[参考配布（各種事業等チラシ）]

- ・ 第2期大学コンソーシアム山形事業計画の概要
- ・ やまがた夜話
- ・ 合同企業説明会
- ・ ゆうキャンパス通信

議事録署名人

山形大学長

結城章夫



山形県立農業大学校長

百瀬清昭



山形大学理学部教授

栗山恭直

